



intra-mart Accel Platform / Accelシリーズ

2024 Spring アップデート情報

© 2024 NTT DATA INTRAMART Corporation

2024
Spring



目次

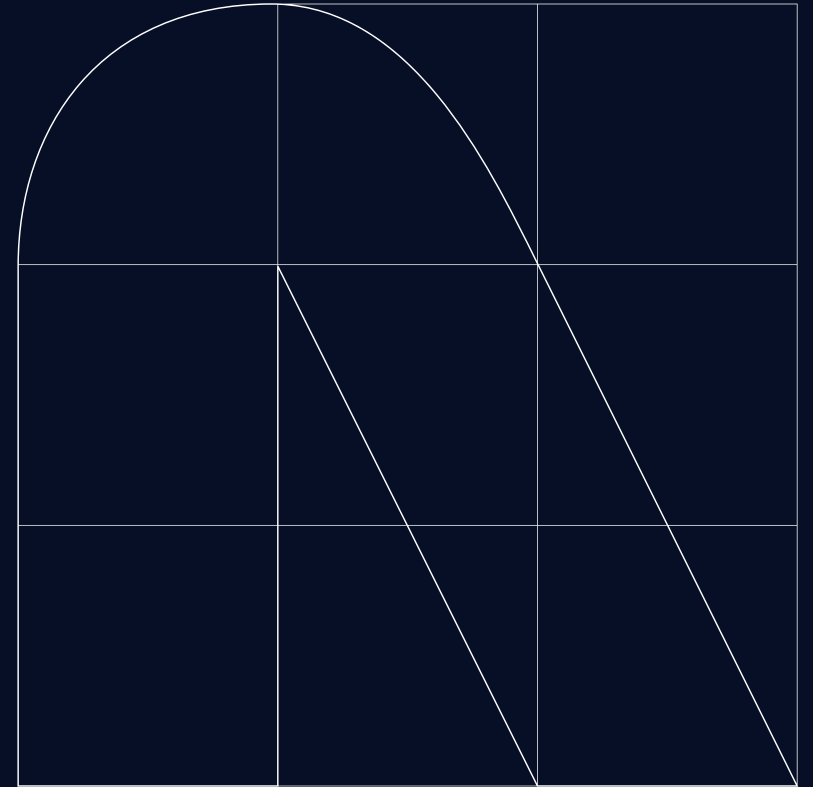


1. 製品開発・アップデート方針
2. 2024 Spring 主要トピックス
3. ローコードでの先進技術の活用
4. DevOps機能の強化
5. BPM / ワークフロー機能の強化
6. システム / サービス連携の強化
7. システム要件 / アプリケーションシリーズ
8. Appendix



01

製品開発・アップデート方針



製品開発・アップデート方針



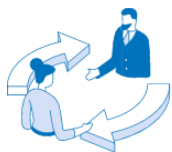
1. 先進技術をローコードで活用

生成AIなどの先進技術を駆使したアプリケーション開発を、スピーディーかつ手軽に実現するためのローコード機能の強化を実施しています。



2. 小さなスタートから持続的な成長へ

部門単位の小規模のシステム開発から全社規模の開発までをサポートした、DevOps機能の強化を実施しています。開発体験の統一と開發生産性の向上を目指します。



3. 正確な業務把握から全体最適へ

業務プロセス改革を実現するためのプロセス可視化から改善・実装に至るまでの、上流工程の要件定義を支援するBPM/ワークフロー機能を強化し、業務の全体最適化と自動化を実現するための開発を実施しています。



4. システムを繋いで業務を効率化

既存システムや他製品・サービスとの柔軟な連携が可能となるための機能強化を実施しています。例えば、既存の基幹システムはそのままの運用で、intra-martは基幹システムのフロントシステムとして運用する、などの柔軟なシステム開発の実現を目指します。

2024 Springの機能強化方針



1. 先進技術をローコードで活用



2. 小さなスタートから持続的な成長へ



3. 正確な業務把握から全体最適へ



4. システムを繋いで業務を効率化



エンタープライズ・ローコードプラットフォームの実現へ

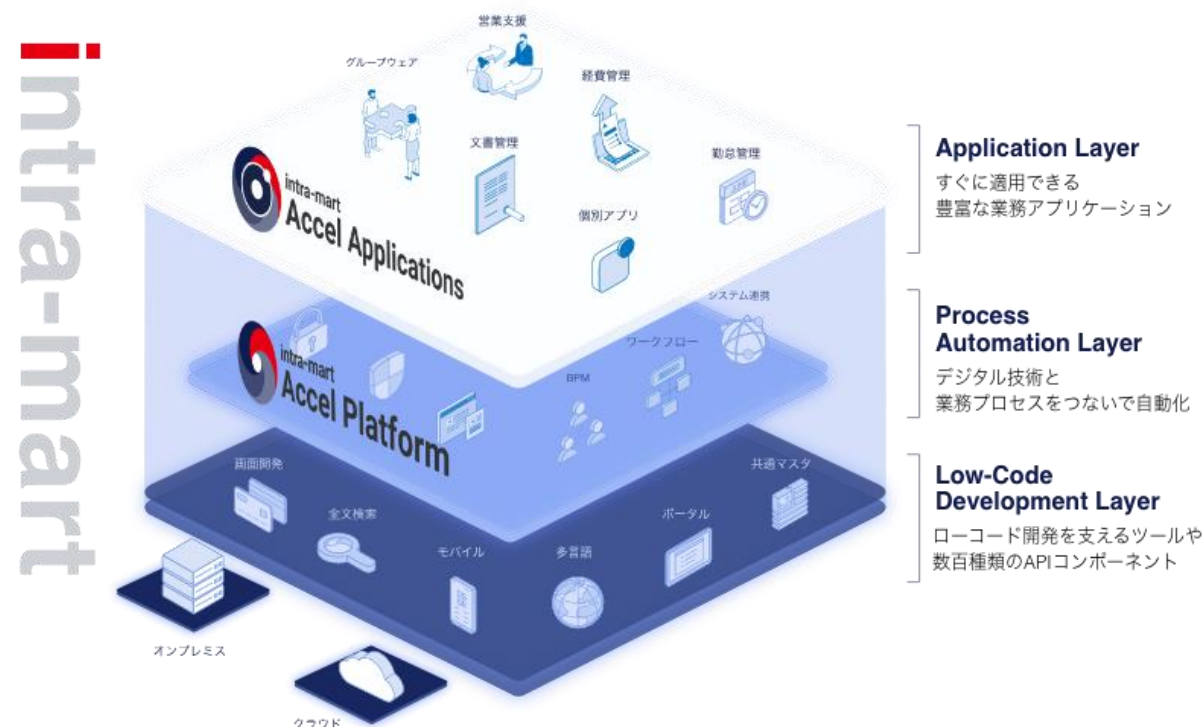
intra-mart Accel Platformが目指すもの



デジタル業務改革、もっと手軽に
エンタープライズ・ローコードプラットフォームで実現
Making digital business transformation easier by Enterprise Low-Code Platform

intra-mart Accel Platformは、
企業のデジタル業務改革を実現するための機能強化
を実施しています。

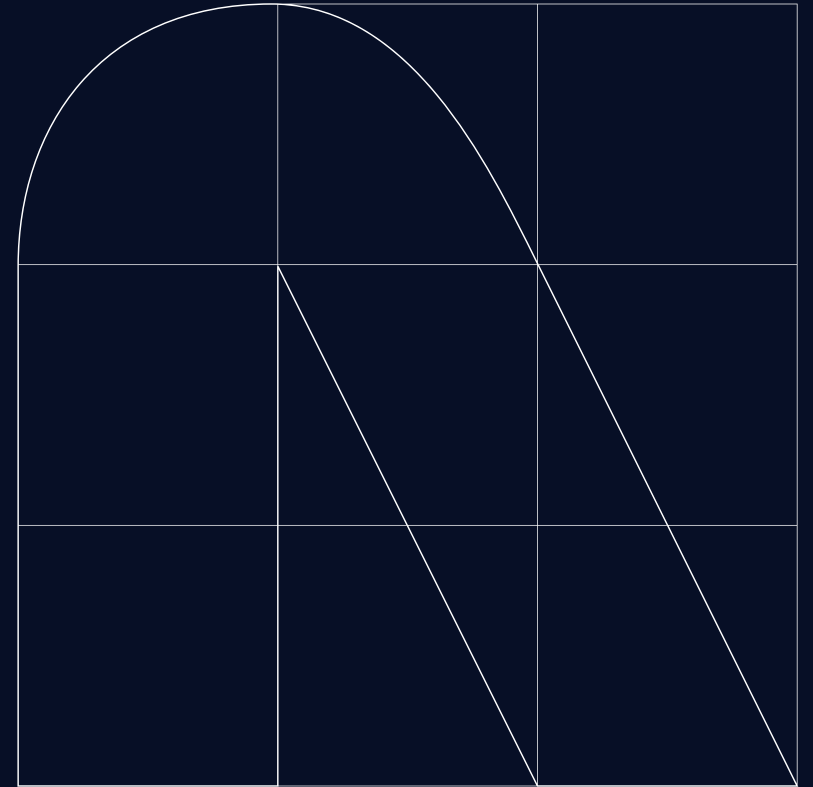
業務の効率化をスピーディーに実現可能なエンター
プライズ・ローコードプラットフォームとして、全体最
適化されたシステムの開発・運用が可能なプラット
フォームを目指しています。





02

2024 Spring 主要トピックス



2024 Spring 主要トピックス



1

生成AIサービスとの連携機能を追加

- ・「IM-Copilot」でOpenAI、Azure OpenAIサービスと連携

2

UI/UXの強化

- ・画面開発機能「IM-BloomMaker」に操作しやすい編集モードを追加
- ・デザインガイドラインとUIコンポーネントを提供(デザインシステム)

3

開発者向けポータルサイトをオープン

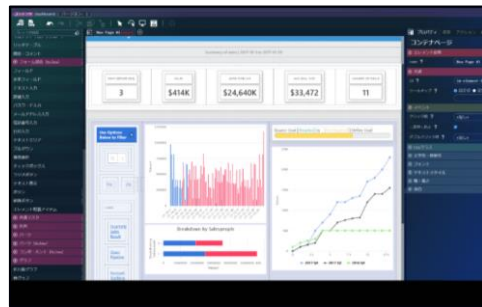
- ・開発者にわかりやすく各種情報・ドキュメントを案内するサイトを開設

① 生成AIサービスとの連携機能を追加

生成AIサービス「OpenAI」「Azure OpenAI」を利用したシステムの開発が可能に

生成AIを利用した画面・システムの開発例

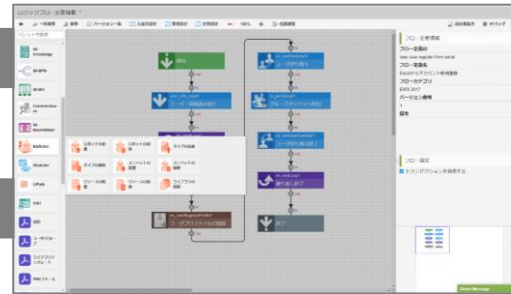
画面作成機能



1

生成AIの処理を呼び出す画面部品を配置

ロジック作成機能



2

サーバ側で生成AIサービスの呼び出し(API)を実行

生成AIサービス



OpenAI
Azure OpenAI

3

生成AIサービスが実行した結果のデータを返却

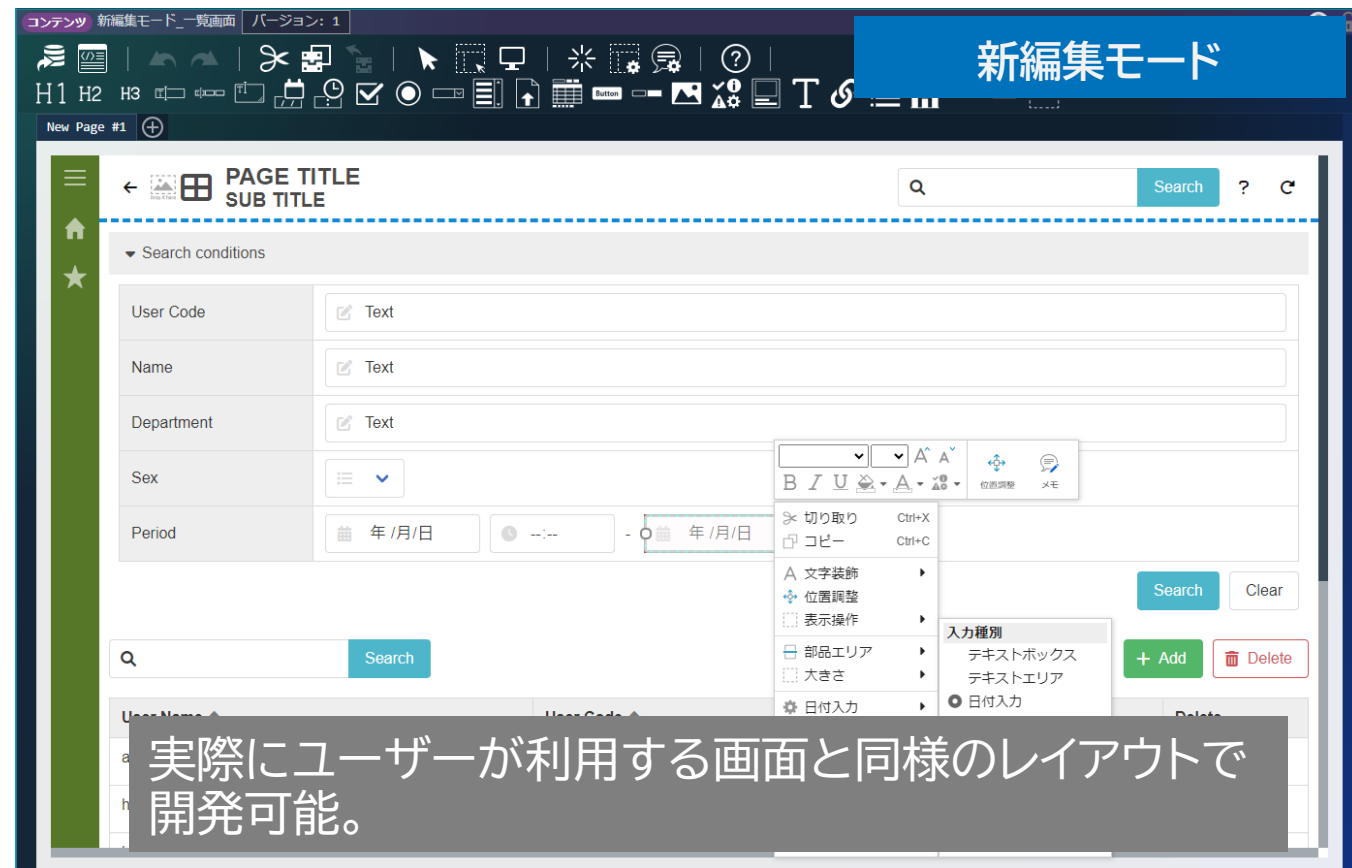
② UI/UXの強化

画面開発機能「IM-BloomMaker」に新編集モードを追加

追加機能リリース(2024.6)



※既存編集モードはアップデート後もご利用いただけます。



※開発中の画面であり、正式公開時には変更されている場合があります。



② UI/UXの強化

デザインシステム(intra-mart Design System)の提供（6/28公開予定）

デザインシステムとは？

IT製品を開発するためのデザインに関する原則、ガイドライン、UI部品(コンポーネント)、画面テンプレートなどを定義したドキュメント、及び、コードを提供するもの。

デザインシステムの構成要素(一部)

- デザイン原則
- 画面設計方針
- スタイルガイド(色、アイコンなど)
- UIコンポーネント(ボタン、セレクトボックスなど)
※コード(HTML/CSS/JavaScriptなど)を含む
- 画面テンプレート(画面サンプル)



UI/UXの向上

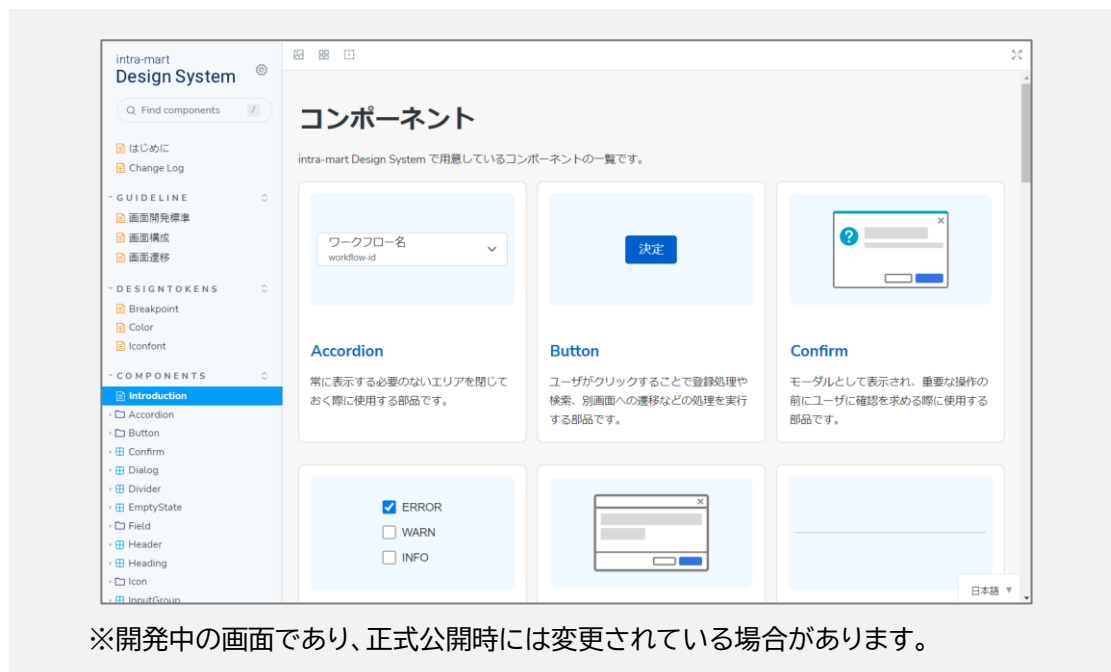
デザインシステムを利用して画面の設計・デザインを実施することで、UI(デザイン性)/UX(ユーザー体験)を向上させることが可能

② UI/UXの強化

デザインシステムが提供する画面コンポーネントをIM-BloomMakerで利用可能

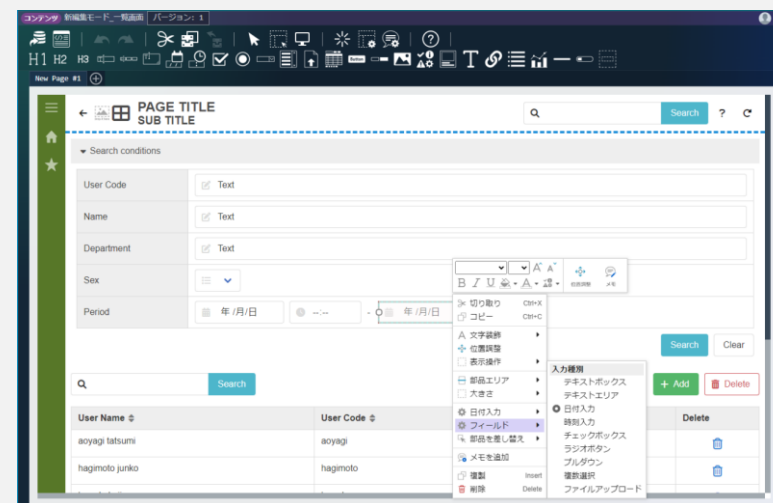
デザインガイドラインに定義された設計ルールや画面パターンや画面コンポーネントを利用して開発することで、一貫性のある、使い勝手の良いUI(ユーザーインターフェース)を実現できます。

画面コンポーネント



ローコード開発画面

画面コンポーネントはIM-BloomMakerで利用可能(コンテンツ種別「imds」)



② UI/UXの強化

ローコード開発機能で、素早く、操作性の高い画面を開発可能に

開発サンプル画面

一貫性のある操作感の画面を作成できるようになり、ユーザーのUX向上を実現

① フォーム入力画面

← テーブルのように
\${サンプル} 通常のフォーム画面（テーブルライクタイプ）

申込情報

契約情報

クラウドサイン申込日 必須

年 / 月 / 日

有償環境開始日 必須

年 / 月 / 日

契約情報 必須

会社情報

法人名 必須

販売形態

☐ 直販
☐ パートナー販売

パートナー 任意

支払方法 必須

カード

対応状況

担当者

仮登録実施者 任意

検索

本登録・保守登録実施者

検索

顧客登録・与信チェック

顧客登録WF・与信結果

☐ 未実施
☐ 実施済み

与信チェック結果反映

☐ 未実施
☐ 実施済み

保守登録

カスタマーID 必須

更新

削除

② 一覧画面

■ \${サンプル} インポート

1 ファイルを選択 / 2 内容の確認 / 3 インポート結果

警告文を表示したい場合に使用してください。

- サンプルサンプルサンプルサンプルサンプルサンプル
- サンプルサンプルサンプルサンプルサンプルサンプル

末尾の文章です。末尾の文章です。末尾の文章です。末尾の文章です。末尾の文章です。

検索

更新のみ表示

表示件数: 10 / 100

ステータス	カテゴリ名	採番定義名	採番定義ID	採番形式	採番リセットスケジュール	説明
新規	カテゴリ1	テスト1	test_1	prefix-0001	毎日	説明が入ります。
更新 ⚠	カテゴリ2 カテゴリ...	テスト2 テスト2...	test_2test_2test_2test_2te...	prefix-xxxx-00001	毎月1日	▶ 説明説明説明 説明説明説明
新規	カテゴリ3	テスト3	test_3	prefix-0001	毎年1月1日	
更新 ⚠	カテゴリ4	テスト4	test_4	prefix-0001	毎月1日	▶ 改行付き 説明説明説明
新規	カテゴリ5	テスト5	test_5	prefix-0001	毎日	説明が入ります。
新規	カテゴリ6 Categor...	テスト6 test0test...	test_6test_6test_6test_6te...	prefix-xxxx-00001	毎月1日	▶ The quick, bro lazy dog. DJs
更新 ⚠	カテゴリ7	テスト7	test_7	prefix-0001	毎日	説明が入ります。

戻る

インポート

※注意: 上記の開発サンプル画面はデザインシステムにおいて策定中のサンプル画面であり、上記と同様の画面を開発出来ることを保証するものではありません。
また、デザインシステムの正式公開時にはデザイン(レイアウト、項目、色など)が変更されている、または、非公開となっている場合があります。

③ 開発者向けポータルサイト「Developer Portal」をオープン

開発者にわかりやすく各種情報・ドキュメントを案内するサイトを公開しました。
intra-martの各種情報へのアクセスが簡便化され、情報を探しやすくなりました。

サイト概要

Developer Portal



製品ドキュメント、YouTubeチャンネルコンテンツなど、intra-mart関連情報の集約サイトです。
ローコード開発情報専用ページ「ローコードポータル」も本サイトからご覧いただけます。

ローコードポータル

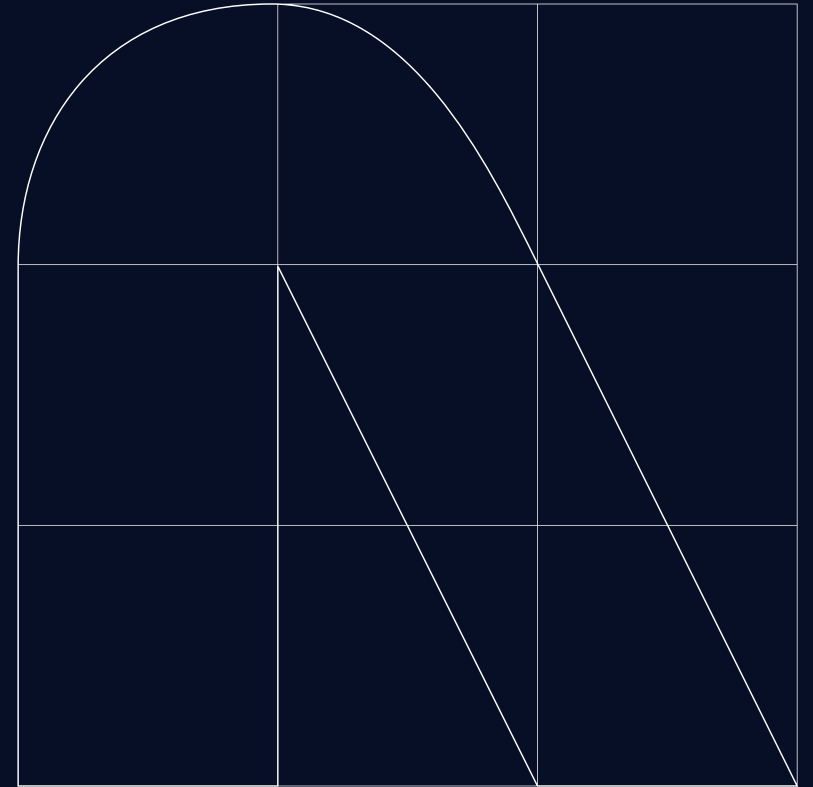


intra-martのローコードツールを使用した開発に関する、専用ポータルサイトです。
開発フェーズごとのローコード開発ツール利用方法、各製品にフォーカスした活用事例記事などを公開しています。



03

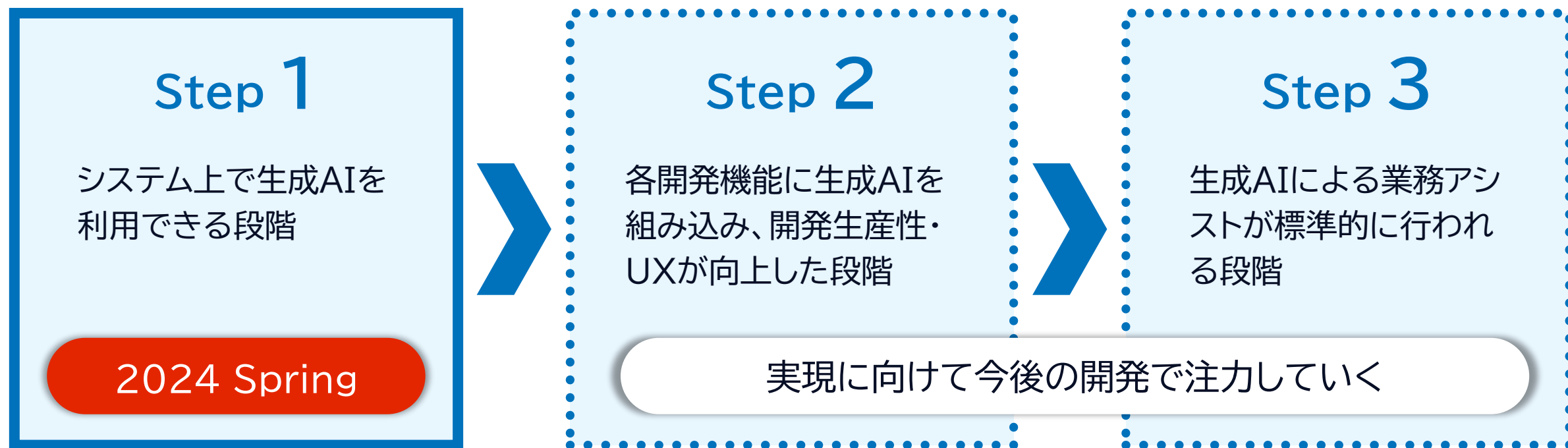
ローコードでの先端技術の活用



intra-martにおける生成AI活用の開発方向性

intra-martでは以下のような3段階のステップで生成AIの活用を予定しています。

2024 Springのリリースはその1ステップ目にあたります。



生成AIを活用したシステムの例

「社内ヘルプデスク」としての活用

業務データや業務マニュアルなどをAIに学習させ、ユーザからの質問に回答させる



Q&A

- 「休暇の申請方法を知りたい」
- 「〇〇案件の現在の情報を
知りたい」など

各種手続き方法や業務に関する社内問い合わせを効率化し、
担当者の負担を軽減

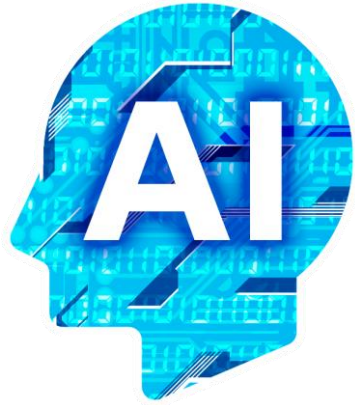
AIによる入力候補の提案/自動入力

申請画面でいくつかの項目を入力すると、残りすべての項目の入力内容をAIが予測し、入力候補提案、自動入力を行わせる



入力作業時間の短縮し、データ入力ミスの防止により、
業務効率化や品質の向上を実現

生成AIを搭載したアプリを作成できるようになりました



新規提供の「生成AI連携モジュール」(IM-Copilot)により、システム上で作成した**アプリへ生成AIを組み込むことができる**ようになりました。これにより、以下の効果が見込まれます。

アプリユーザの業務効率化

成果物の質向上

コンテンツ準備コストの軽減

..... 生成AI連携モジュールで実現可能なこと

コンテンツ生成



- 文章生成 / チャット
- 文章要約 / データ抽出
- 画像生成
- 音声からの文字起こし

※活用例はAppendix参照

業務運用支援機能



- コンテンツモデレーション
(業務データの監視)
- ログ記録



2024 Springで連携可能な生成AIサービス・利用条件

連携可能な生成AIサービス

- OpenAI
- Azure OpenAI

※ 今後のバージョンでの他生成AIサービスとの連携は検討中です。

利用条件

対象バージョン

- intra-mart Accel Platform 2024 Spring以上のバージョン

対象エディション

- 【CSL】アドバンスエディション
- 【CSL】プロフェッショナルエディション

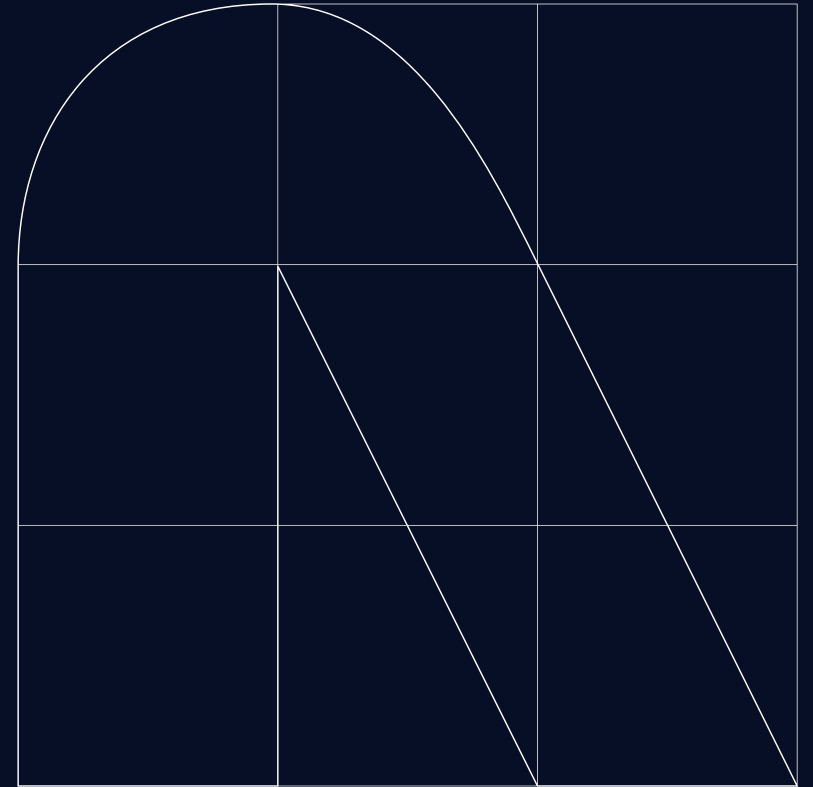
提供方法

- IM-LogicDesigner部品
- スクリプト開発モデル向けAPI
- JavaEE開発モデル向けAPI



04

DevOps機能の強化

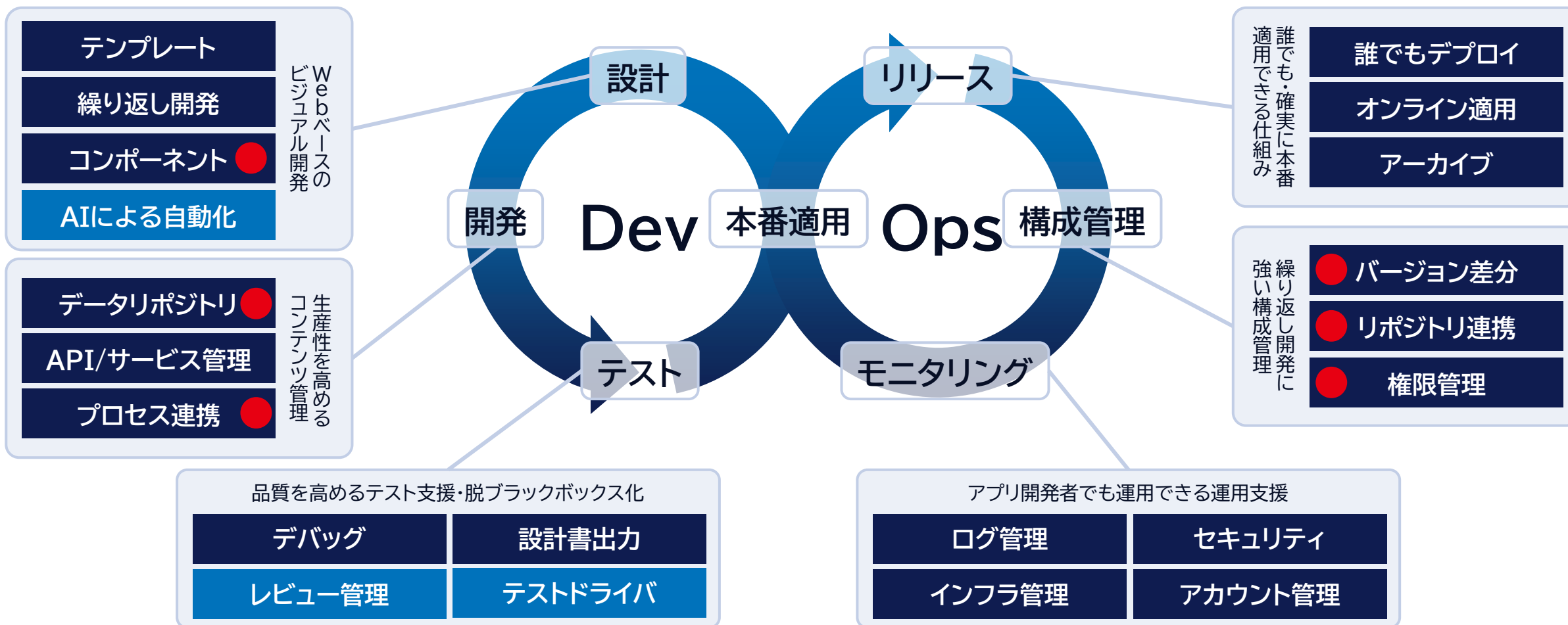


intra-mart Accel PlatformにおけるDevOps

intra-martのローコード開発は一般的なローコード開発と異なり、大規模システムの開発・運用に対応可能な各種DevOps機能を搭載しております。

● 2024 Spring 強化ポイント

提供	提供予定
----	------



各開発フェーズにおけるアクターと機能強化ポイント

アクター	業務設計者 ビジネスアナリスト		開発エンジニア		運用管理者	
	UI/UXデザイナー					
フェーズ	要件定義		設計	開発	テスト	運用
機能強化 ポイント	画面デザインツール ※6月追加リリース予定					
	BPM連携	新たな見た目の画面コンポーネントの追加				BPM連携
			既存利用テーブルからの エンティティ生成			バージョン管理
			バージョン管理			
		データ起点でのアプリ生成				
		共通定数・多言語				
	画面開発、業務ロジック開発、テンプレート、 データリポジトリ、UI/UXの改善					全文検索

中規模以上のローコード開発に便利な機能を追加

ローコード開発ツールのアップデートで、**ローコード資材の管理がより便利に、複数人での同時開発がより行いやすくなりました。**

	対象アクター	業務設計者 / ビジネスアナリスト	UI/UX デザイナー	開発エンジニア / モジュール設計者	運用管理者 / システム利用者
Accel Studio					
自作テンプレートのインポート/エクスポート機能を追加 ▶ 資材の別環境への移行がしやすくなりました					
アプリケーション資材をGitHubで管理可能に ▶ 開発環境と本番環境などの資材管理の一元化などに有効					
多言語・共通定数の管理機能を追加 ▶ システム開発時にデータを管理、活用しやすくなりました					
IM-LogicDesigner / IM-Workflow					
自作テンプレートのインポート/エクスポート機能を追加 ▶ 資材の別環境への移行がしやすくなりました					

データからアプリケーションを作成する機能を追加

お客様からのご要望が多かったデータ活用系の機能をAccel Studioのアプリケーションテンプレートへ追加し、**アプリ開発、利用時にデータを活用しやすく**なりました。

アップデートの概要

「マスタメンテナンス」テンプレートへ以下の機能を追加

- ① アプリビルド時に、Excelファイルにまとめたデータをインポートして利用できるようになりました。



- ② ビルドしたアプリでインポートしたデータ一覧を参照可能です。更に、**複数のデータをインポートして各テーブルを紐づけることで、結合したデータも表示可能**です。

ユーザマスタを参照するアプリの作成

ユーザ			
ユーザID	intra	ユーザ名	印虎太郎
住所	東京都港区赤坂四丁目15番1号 赤坂カールデンシティ5階		

商品マスタを参照するアプリの作成

注文明細				
明細番号	商品ID	商品名	金額	
1	Item20	ボールペン	100	
2	Item11	付箋	500	
3	Item15	クリアファイル	1000	

対象アクター



UI/UXデザイナー



開発エンジニア /
モジュール設計者

IM-Repositoryの機能をアップデートしたことで、
ユーザが開発済みアプリのデータをより管理、活用しやすくなりました。

① テーブルをインプットとするエンティティ作成を支援できるようになりました。

② エンティティ項目を共通マスタと連携しました。

対象アクター



UI/UXデザイナー



開発エンジニア /
モジュール設計者



その他アップデート内容①

その他に2024 Springバージョンで行われたアップデートの概要は以下の通りです。

Accel Studio

- アプリケーション詳細画面のUI/UXを改善しました。
- Accel Studioワークフロー管理画面を改善しました。
- アプリ作成時にIM-Repositoryの列挙型を、プルダウン選択肢として設定可能にしました。

IM-BloomMaker

- 共通の「イベント」に「キー押下時」を追加しました。
- デザイナーに、「IM-BloomMakerユーザ操作ガイド」へのリンクを追加しました。
- リッチテーブルの columnSettings に、日付のみを扱うタイプ dateOnly を追加しました。
- リッチテーブルの日付表示時に、フォーマットを指定できるよう改善しました。
- リッチテーブルで、変数入力規則に応じたバリデーションチェックを行うよう改善しました。



その他アップデート内容②

その他に2024 Springバージョンで行われたアップデートの概要は以下の通りです。

IM-LogicDesigner

- CSV 出力ユーザ定義を提供しました。
- ストアドプロシージャ実行ユーザ定義を提供しました。
- メール送信タスクへ名前を指定する入力を追加しました。
- Accel Documents 連携用タスクを追加しました。



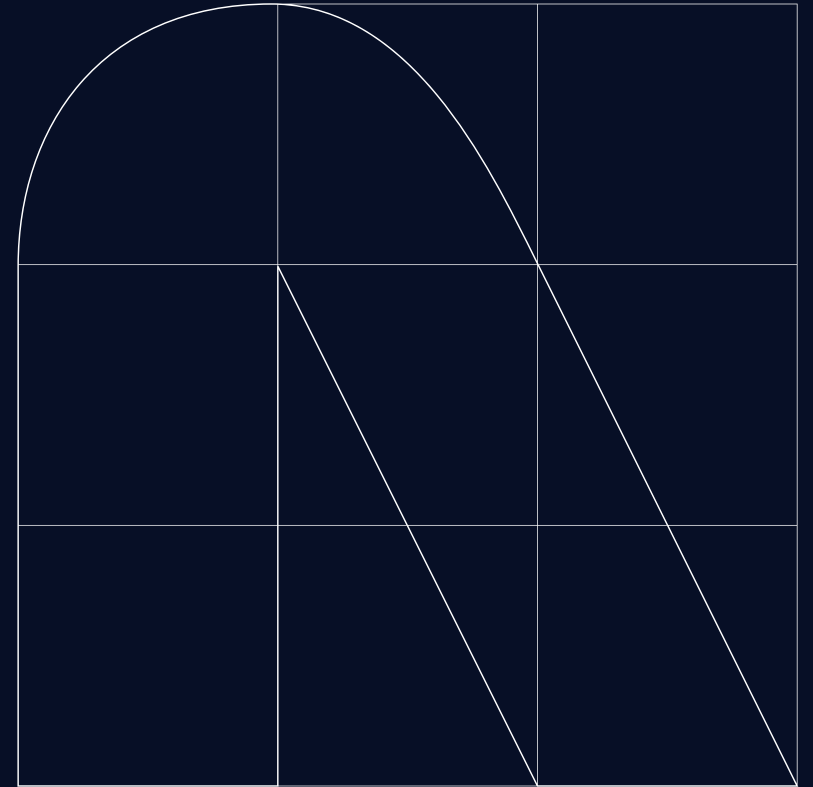
アップデート内容の詳細は要件情報公開サイト
をご確認ください。

<https://issue.intra-mart.jp/>



05

BPM / ワークフロー機能の強化



BPMの差配機能を強化しました

差配機能を強化することにより、**ユーザがより効率的にシステムを利用できる**ようになりました。

アップデートの概要

- ① マネージャー(管理者)の担当プロセス差配権限を用意。
 - ▶ 現場のマネージャーがプロセスの滞留を解決できるようになりました。
(2023 Autumn以前はプロセス差配権限はシステム管理者のみ)
- ② プロセスやタスクの進捗状況の可視化。
 - ▶ プロセスが滞りやすい部分を見つけやすくなりました。
- ③ システム上のデータを元に差配先候補の情報を提示。
 - ▶ 差配者が差配先を決定しやすくなりました。

どのタスクで
遅延しているか

30%

55%

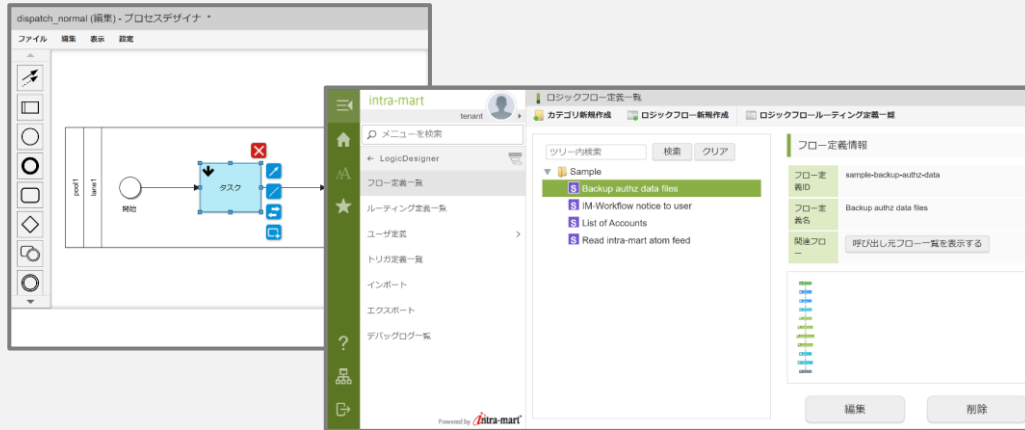
80%



BPMのデザイナー画面から各機能への直接遷移を可能にしました

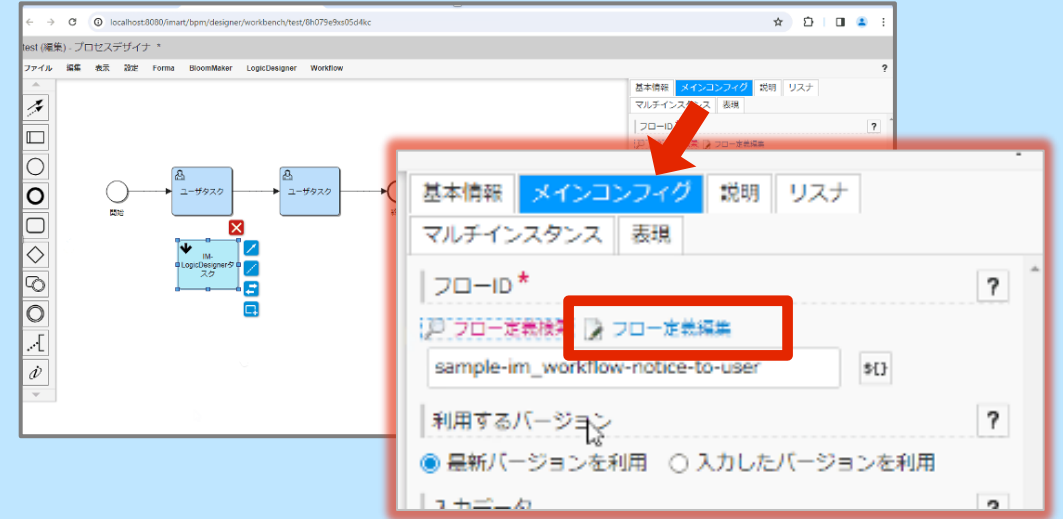
BPMプロセスデザイナー画面から他機能へ遷移する導線を改善することで、
BPM開発者がより円滑に開発を行えるようになりました。

これまで



- 開発操作時のクリック数が多い
- プロセスエディタから直接遷移できない
- 定義一覧から再検索しなければならない

2024 Spring

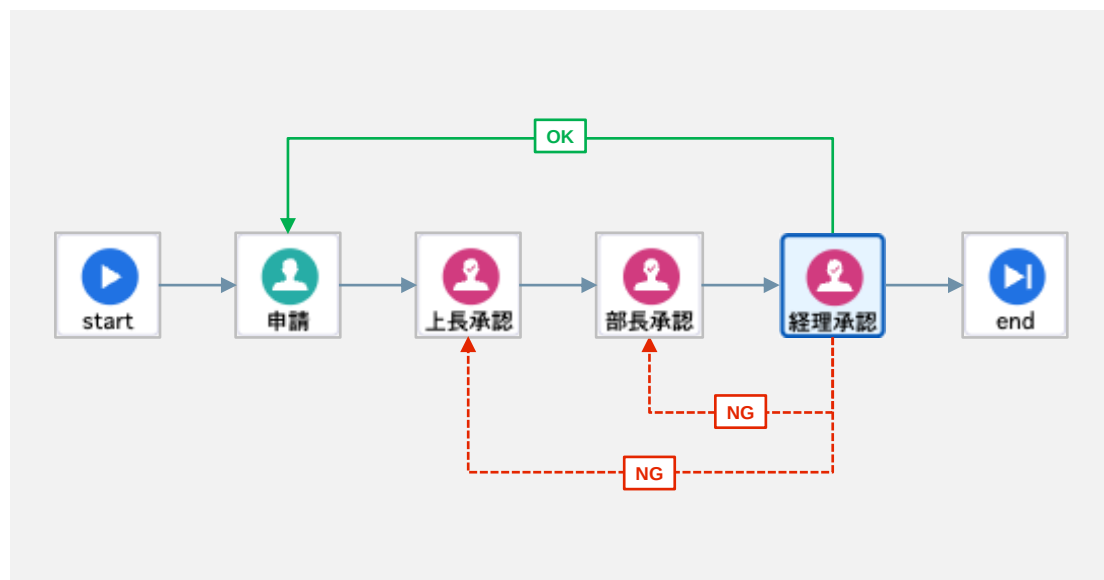


- プロセスエディタから直接遷移が可能
- 遷移先はタスクの連携するバージョン

IM-Workflowに差し戻し先制限機能を追加しました

差し戻し先制限機能を追加することで、

ユーザはより多様な処理ケースでワークフローを処理できるようになりました。



設定画面

差し戻し

☒ 差し戻しの実行を許可する

処理表示名 * デフォルトの表示名に戻す

日本語 * 差し戻し

英語 * Send back

中国語 (中国) * 退回

差し戻し可能なノード ②

☐ ノード名

☒ 申請

☐ 上長承認

☐ 部長承認

処理画面

app73399 - 経理承認

基本情報 * ☒

← 差し戻し * ☒

基本情報

案件番号 0000000217

案件名 ノートパソコン購入

申請者 上田原男

申請基準日 2023/11/13

申請日 2023/11/13

処理者 * 寺田雅彦

担当組織 * その他課 01

優先度 ☒ 通常

コメント

← 差し戻し

ノード名 申請

処理者 申請

処理者 上田原男

差し戻し

- 「差し戻し先は申請ノードのみにしたい」
- 「ひとつ前のノードにのみ差し戻しさせたい」
- 「ある程度進んだ案件については最初の方のノードに差し戻しさせたくない」

など柔軟な差し戻し制御をしたい場合に有効



その他のアップデート内容

その他に2024 Springバージョンで行われたアップデートの概要は以下の通りです。

IM-Workflow

- 処理対象者再展開ジョブに振替に関するパラメータを追加しました。
- システム案件IDを指定して、処理画面や詳細画面へ遷移するURLが取得できるようになりました。
- 処理モダルの保存済み設定を改善しました。



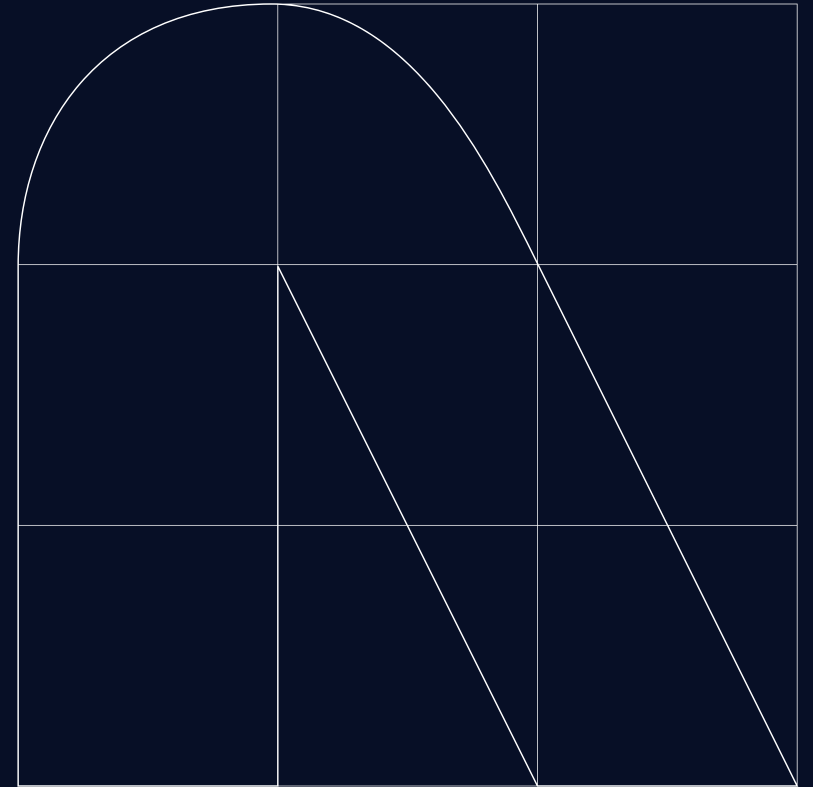
アップデート内容の詳細は要件情報公開サイト
をご確認ください。

<https://issue.intra-mart.jp/>



06

システム / サービス連携の強化



Box連携機能の強化

以下のようなアップデートで、ユーザがよりシステムを使いやすくなりました。

アップデートの概要

- ① LogicDesignerタスク/Java/スクリプト開発の3つの方法について利用ガイドを提供します。
- ② Box連携のロジックフローへのパラメータの渡し方を案内します。



intra-mart Accel Platformは、Boxエコシステムソリューションとして認定されました。
本件の詳細については、icottoサイト内「Partner's Room」内資料をご確認ください。



その他のアップデート内容

その他に、2024 Springバージョンで行われたアップデートの概要は以下の通りです。

OAuth認証機能

- OAuthのスコープを、画面上から管理できるようになりました。
- OAuthのスコープ選択時に、新たにスコープを作成できるようになりました。



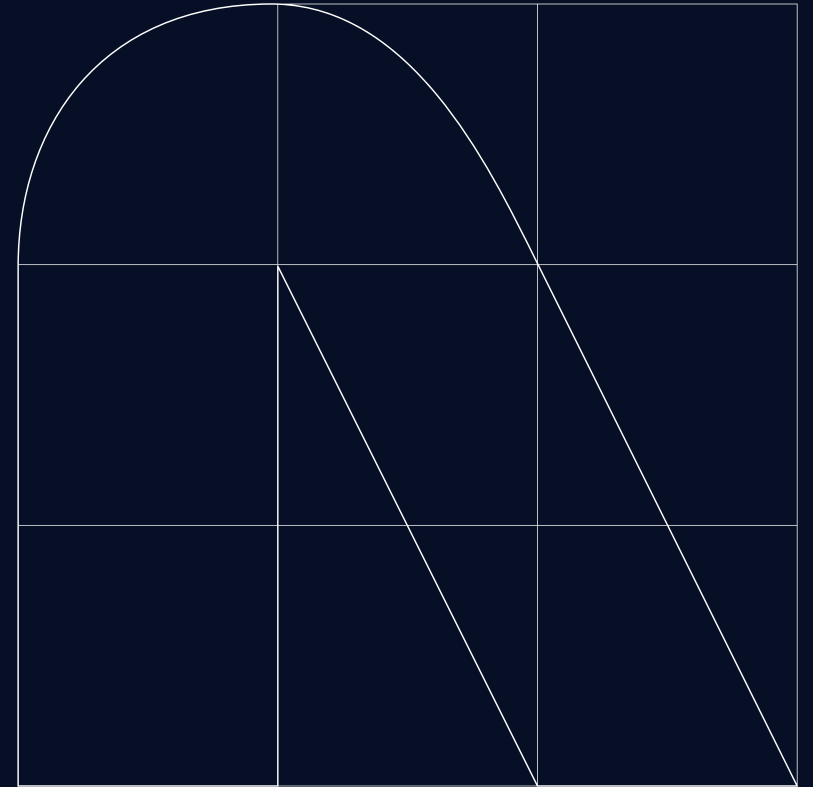
アップデート内容の詳細は要件情報公開サイト
をご確認ください。

<https://issue.intra-mart.jp/>



07

システム要件 / アプリケーションシリーズ





システム要件のアップデート

サーバ要件

〔サポート対象追加〕

- PostgreSQL 16

〔サポート対象削除〕

- PostgreSQL 11

クライアント要件

〔バージョン更新〕

- Google Chrome 122
- Microsoft Edge 122
- Android 10以上
- iOS 17以上

〔サポート対象削除〕

- macOS Big Sur



その他のアップデート内容

以下の機能において、パフォーマンス改善を実施しています。

Box連携モジュール

- Boxユーザー括連携ジョブの動作速度を改善

IM-BPM

- 処理済タスク一覧画面のパフォーマンスを改善



アップデート内容の詳細は要件情報公開サイト
をご確認ください。

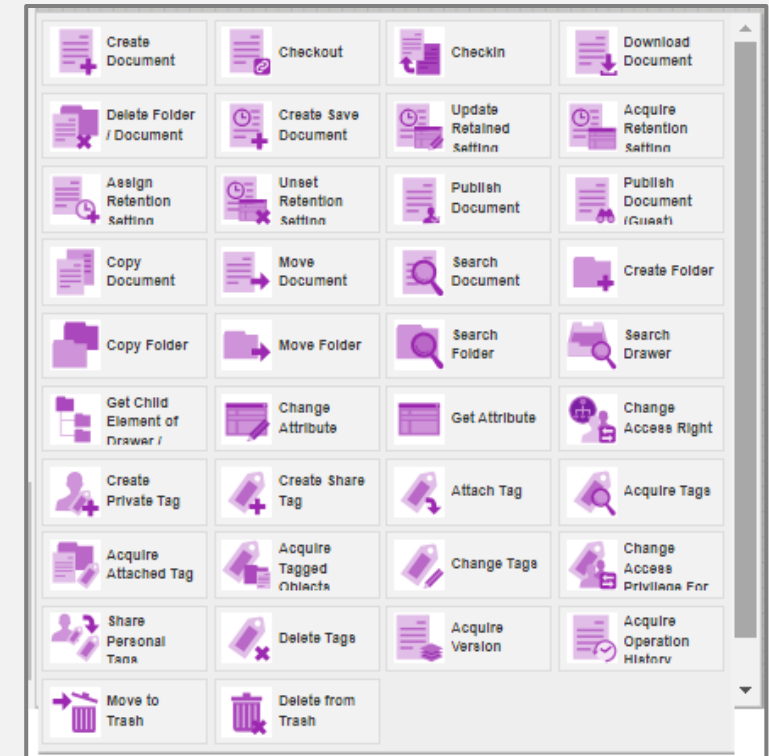
<https://issue.intra-mart.jp/>

【アプリケーション】Accel Documents アップデート

Accel Documents連携用のLogicDesignerタスクを追加しました。

アップデートの概要

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ① タグの変更 | ⑦ タグの付与されているオブジェクトの取得 |
| ② タグの削除 | ⑧ 「カスタム属性取得」ユーザ定義 |
| ③ タグリストの取得 | ⑨ バージョン取得 |
| ④ 個人タグの共有化 | ⑩ 操作履歴取得 |
| ⑤ 共有タグのアクセス権変更 | |
| ⑥ オブジェクトに付与されているタグの取得 | |
- ・今シーズンのタスク追加で、Accel Documentsにおける一般ユーザが可能な操作は全てIM-LogicDesigner上で実現可能となりました。
 - ・その他、「ログ出力の改善」や「操作性向上」を目的とした対応を実施しています。





2024 Spring でアップデート対象製品

以下の製品は、2024 Springでアップデートが実施されます。

アップデート対象OEM製品

- intra-mart Accel Kaiden!
- IM-PDFAutoConverter
- IM-PDFCoordinator
- IM-PDFDesigner/Designer Fullpack
- IM-PDFDirectPrint
- IM-PDFTimeStamper

アップデート対象外の製品

下記製品は、2024 Springでアップデート内容はありません。また、CSLでの対応予定はありません。

- intra-mart Accel GroupMail
- intra-mart Accel Collaboration 電子会議室

2024 Spring でCSLに対応する製品

以下の製品は、CSL（ベーシック/アドバンス/プロフェッショナル）で販売が開始されます。

CSL販売が開始される製品

- intra-mart Accel Archiver
- intra-mart Accel Collaboration アンケート
- IM-SecureSignOn



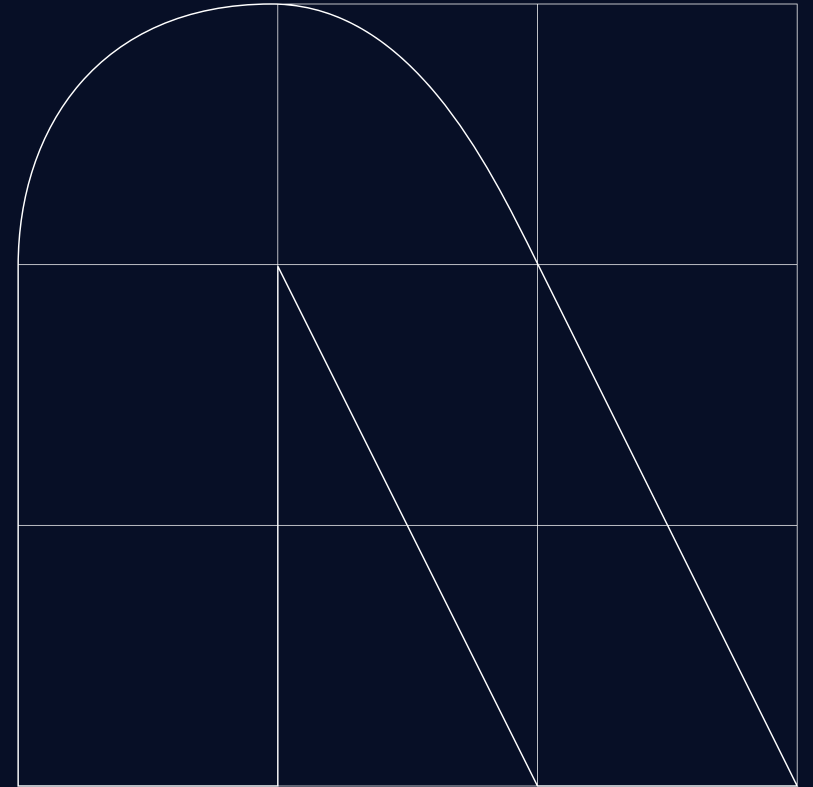
アップデート内容の詳細は要件情報公開サイト
をご確認ください。

<https://issue.intra-mart.jp/>



08

Appendix



要件情報公開サイトについて

本資料は要件情報公開サイトに記載されている内容のうち、主要なアップデートについて記載しています。

本資料に記載のないアップデート情報、各アップデート内容の詳細を確認したい場合は、要件情報公開サイトを併せてご利用ください。



intra-mart要件情報公開サイト
<https://issue.intra-mart.jp/>

The screenshot displays the 'intra-mart 要件情報公開サイト' (intra-mart Requirement Information Disclosure Site) interface. It highlights three search methods:

- チケット番号による検索 (Search by Ticket Number):** A red box highlights the search input field with the value '37020' and a red arrow pointing to it from a red callout box.
- カテゴリによる検索 (Search by Category):** A green box highlights the category dropdown menu on the left, which lists various products like 'Accel Platform Mobile', 'Accel Studio', etc. A green callout box points to this menu.
- 機能・製品ごとに検索できます (Search by Function/Product):** A green box highlights the category dropdown menu, with a green callout box stating '機能・製品ごとに検索できます'.

On the right, a smaller screenshot shows a list of search results for 'intra-mart Accel Platform', including details like version (2024 Spring 8.0.35) and a table of updates.

- <https://issue.intra-mart.jp/projects/iap>
- <https://issue.intra-mart.jp/projects/iac>
- <https://issue.intra-mart.jp/projects/bpm>



要件情報公開サイト：2024 Spring 対応要件へのリンク-1

製品・機能	対応要件一覧URL
intra-mart Accel Platform	https://issue.intra-mart.jp/projects/iap/issues?query id=923
Accel Studio	https://issue.intra-mart.jp/projects/accelstudio/issues?query id=930
IM-BIS	https://issue.intra-mart.jp/projects/bis/issues?query id=926
IM-BloomMaker	https://issue.intra-mart.jp/projects/bloommaker/issues?query id=929
IM-BPM	https://issue.intra-mart.jp/projects/bpm/issues?query id=950
IM-FormaDesigner	https://issue.intra-mart.jp/projects/forma/issues?query id=927
IM-PDFAutoConverter	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfconv/issues?query id=951
IM-PDFCoordinator	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfcrd/issues?query id=952
IM-PDFDesigner	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfdes/issues?query id=953
IM-PDFDirectPrint	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfdp/issues?query id=954
IM-PDFTTimeStamper	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfts/issues?query id=955



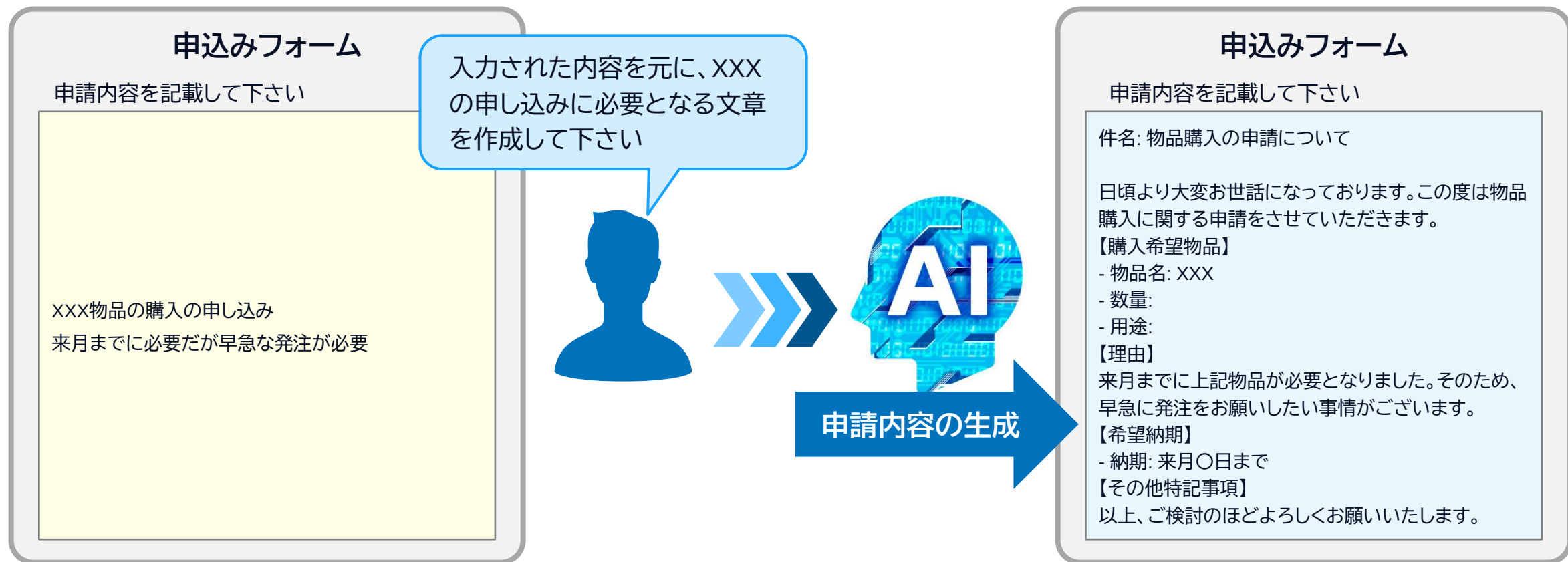
要件情報公開サイト：2024 Spring 対応要件へのリンク-2

製品・機能	対応要件一覧URL
IM-RPA	https://issue.intra-mart.jp/projects/rpa/issues?query id=956
IM-Sign	https://issue.intra-mart.jp/projects/sign/issues?query id=957
intra-mart Accel Archiver	https://issue.intra-mart.jp/projects/iaa/issues?query id=958
intra-mart Accel Documents	https://issue.intra-mart.jp/projects/iad/issues?query id=959



テキストを生成する

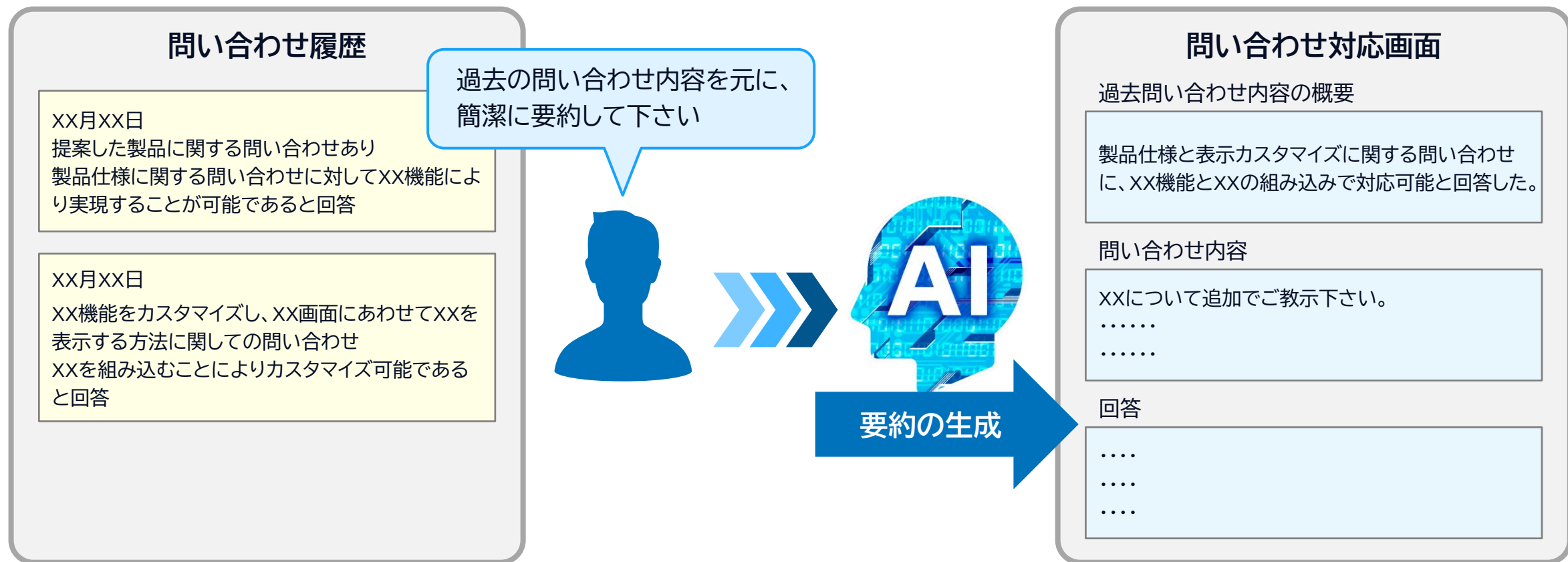
顧客へ送信するメールの本文、営業日報、申請手続きでの入力など、様々なシーンで発生する文章作成をAIがアシストします。





テキストを要約する

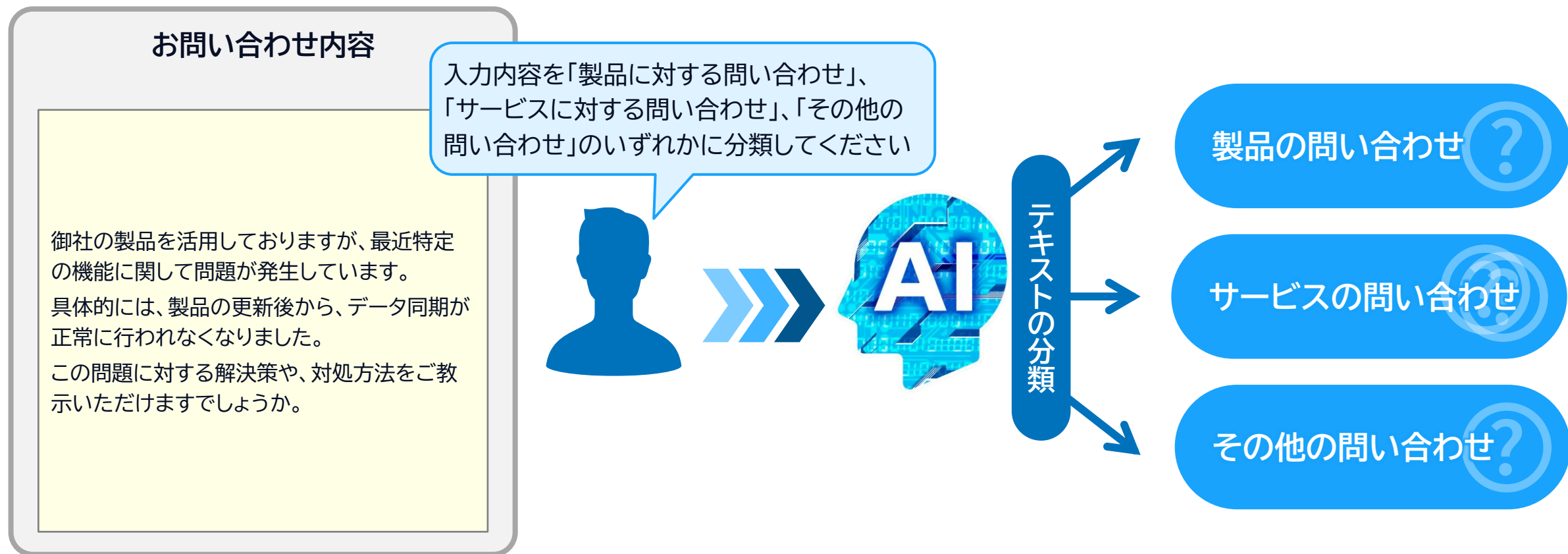
顧客とのやり取り記録や、ワークフロー回覧の履歴などをわかりやすく要約できます。
例えば、過去のやりとりを要約させることにより、次のアクションへの判断が素早く行えます。





テキストを分類する

メールやフォーム入力結果などの不定型なテキストを指定したカテゴリごとに分類できます。
例えば、ケース毎に異なる内容を分類し、業務プロセスやワークフローを開始することができます。





テキストを校正する

入力されたテキストに対する誤字脱字の確認、より適切な表現へ提案など、文章の校正ができます。
例えば、問い合わせ内容に対する回答文章を一定の品質や表現に統一させることができます。

お問い合わせ頂いた事象について調査とか動作確認やってみました、製品Aが使ってるライブラリBの要件が原因で起きてるかもしれないってことがわかりました。

弊社で調べたら、製品Cのバージョン1からはちゃんと値が取れることが確認できました。

これは、バージョン1からライブラリBを新しくしたから、問題がなくなってる可能性が高いです。

すいませんけど、この問題を避けるためには、製品Cのバージョンを、バージョン1以上に更新してもらえるといいかもしれません。

入力されたテキストに誤字脱字、不適切な表現があれば修正して下さい



テキストの校正

ご連絡申し上げます。

お問い合わせいただきました事象につきまして、調査および動作確認を実施させていただきましたところ、製品Aで利用しているライブラリBの以下要件に起因して発生している事象である可能性が考えられます。弊社にて調査を実施したところ、製品C バージョン1以降では正常に値が取得できることを確認しております。

こちらは、以下の要件にて バージョン1以降ではライブラリBのバージョンアップを行っているため、前述の要件が解消されていることで事象が解消されているものと考えられます。

恐縮ではございますが、本件の回避方法として製品Cのバージョンを、バージョン1以降へのアップデートをご検討いただければと存じます。

以上、よろしくお願いいたします。



テキストからデータを抽出

不定型なテキストから、指定の項目の情報を抽出できます。

例えば、メール本文から場所、日時、連絡先などの情報を抽出させることが可能です。

これにより自然言語処理を必要とするデータ分析を素早く行うことができます。

お問い合わせ内容

いつも大変お世話になっております。
〇〇株式会社の〇〇と申します。
この度は、プロジェクトに関する重要な打ち合わせを設定させていただきたく、ご連絡いたしました。
皆様のご都合を伺い、下記の日程で調整を進めたいと思います。
【候補日】
・2023年4月25日(火) 14:00～15:30
・2023年4月26日(水) 10:00～11:30
・2023年4月27日(木) 16:00～17:30
ご参加いただける日時、またはご都合の良い日時をお知らせいただけますと幸いです。
また、参加が難しい場合は、別の日程で調整させていただきますので、ご一報ください。
【連絡先】
〇〇株式会社 〇〇(担当)
電話: 03-1234-5678
メール: example@example.com

入力内容から場所、日時、連絡先などの情報を抽出してJSON形式で出力して下さい



データの抽出

```
{
  "場所": "〇〇株式会社",
  "日時": [
    "2023年4月25日(火) 14:00～15:30",
    "2023年4月26日(水) 10:00～11:30",
    "2023年4月27日(木) 16:00～17:30"
  ],
  "連絡先": {
    "電話": "03-1234-5678",
    "メール": "example@example.com"
  }
}
```

画像生成

テキストで指定した内容を元に画像を生成できます。
これにより広告素材の作成、プロトタイプ作成など、グラフィック系の作業を素早く行うことが可能です。

入力内容を元に、画像生成AIに受け渡すプロンプトを考え、画像を生成させてください

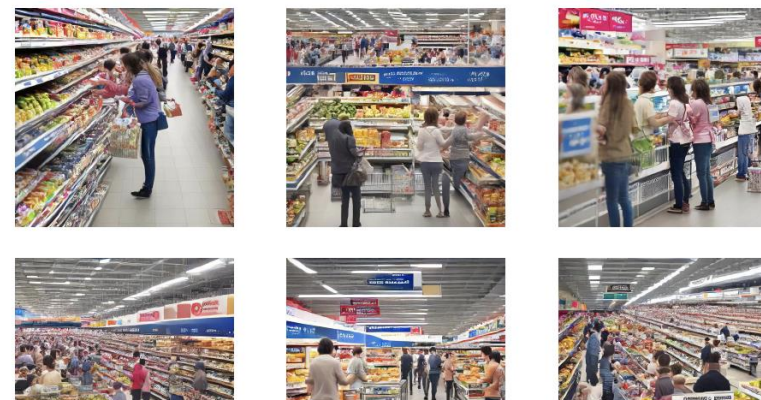
スーパーマーケットの広告イメージが必要です。
沢山のお客が商品を選んでいる画像を作成して下さい。



画像生成の指示

画像生成

AIが画像を生成します、指示は英語で出してください。 > 
(stabilityai/sd-turbo)



☒ Supermarket advertisement showcasing special deals and discounts on products with people lining up eagerly

 生成する

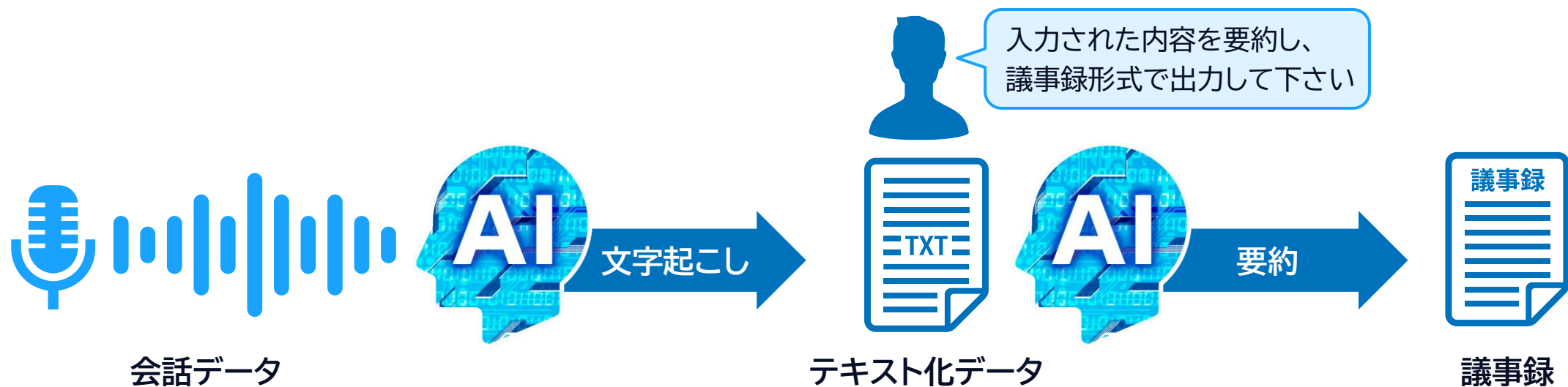


音声データからの文字起こし

音声での会話データをテキスト化できます。

【音声 → テキスト → 要約】、もしくは【音声 → テキスト → データ抽出】というように、音声データから活用しやすいテキストデータに変換することもできます。

例えば、会議の音声データから議事録を作成させる、サポート窓口の問い合わせ内容をテキスト化してデータ分析を行うことなどが可能になります。



お問い合わせ

- 当資料は、アップデートの主要トピックスに限定した説明資料です。
アップデートに関する情報は、要件情報公開サイトをご参照下さい。

▶ <https://issue.intra-mart.jp/>

- システム要件や制限事項につきましては、各製品のリリースノートを必ずご確認ください。

▶ <https://www.intra-mart.jp/document/library/>



ご質問等ございましたら、下記へお問い合わせください。



株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート
セールス & マーケティング本部

Eメール: contact@intra-mart.jp

webフォーム: <https://www.intra-mart.jp/inquiry.html>

The image features a hand holding a glowing globe, which is overlaid with a complex network of white lines and dots, suggesting a global network or data flow. The background is dark blue with bokeh light effects. The logo 'intra-mart' is centered over the globe, with a red 'i' and a registered trademark symbol.

*i*ntra-mart®